

編集後記

附属次世代型学び研究開発センター紀要『教育実践研究』は、2000年に創刊されました附属教育実践総合センター紀要『教育実践研究』を引き継いだ第16号に続いて、このたび第19号の刊行を迎えることができました。

本号では、特集ページ「オンライン授業などに関わる実践」、「教科教育におけるICT活用」、「その他教育実践に関わる研究」に関する論文、実践報告、資料、解説を募集し、査読のある原著論文は募集しませんでした。

特集ページ「オンライン授業などに関わる実践」には、『情報基礎』のオンライン授業、オンラインでの取り組みを通しての「教室」概念の再考に関する研究成果（論文）2編、同期型オンライン授業での模擬授業の実践、オンラインによるプログラミング教育の指導力育成、実習を含むオンライン授業実践、リモート授業およびオンライン筆記試験の実践、小・中・高におけるオンライン授業の可能性と課題に関する研究成果（実践報告）5編が収録されています。特集ページの論文2編、特集ページの実践報告5編、論文1編、実践報告12編の計20編が掲載され、大変充実した内容となりました。

附属次世代型学び研究開発センターは、教育委員会、学校等と連携を図り、「学び」に関する理論的、実践的、臨床的な研究・開発を行うことで、「次世代型学び」を探求し、学生の皆さんの教育や現場の先生方の研修に寄与することを目的としています。今回の特集を含め、本号で紹介いたしました研究成果が、大学の教員や現場の教諭の皆様等からのご指導・ご助言により更に練磨され、児童・生徒・学生に必要な資質・能力の育成に繋がることを切に願っています。

最後になりましたが、表紙のデザインは橋本光明名誉教授に、英文タイトルおよび要旨校閲は高橋ユウエン先生に、編集作業については事務補佐員の夏目尚子さん、荒井美帆さんに献身的なご協力をいただきました。この場をお借りしまして、編集委員会より心から感謝と御礼を申し上げます。また、編集委員会の先生方には、1年を通して支えて頂きました。子育て中であることにもご配慮くださり、深く感謝しております。ありがとうございました。

（第19号編集委員長 松澤泰道）